

文教警察企業常任委員会会議録

令和8年1月22日

場 所 防災庁舎7階 防71号室

令和8年1月22日(木曜日)

午前10時0分開会

審査・調査事項

- 教育及び警察行政の推進並びに公営企業の経営に関する調査
- その他報告事項
 - ・一ツ瀬川県民スポーツレクリエーション施設について

出席委員(7人)

委員長	荒神 稔
副委員長	永山 敏郎
委員	坂口 博美
委員	中野 一則
委員	安田 厚生
委員	本田 利弘
委員	工藤 隆久

欠席委員(なし)

委員外議員(なし)

説明のため出席した者

企業局

企業局長	松浦 直康
副局長 (総括)	大野 正幸
副局長 (技術)	松山 英雄
技監	小野 一彦
総務課長	奥野 真一
経営企画室長	栢木 良一
工務管理課長	山元 孝訓
施設保全課長	結城 善行
発電設備課長	安藤 忠
総合制御課長	西本 修一

事務局職員出席者

議事課主幹	黒木 一寛
総務課主事	高妻 勇斗

○荒神委員長 ただいまから、文教警察企業常任委員会を開会いたします。

まず、本日の委員会の日程についてであります。

日程案については、お手元に配付のとおりであります。御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○荒神委員長 それでは、そのように決定いたします。

執行部入室のため暫時休憩いたします。

午前10時0分休憩

午前10時2分再開

○荒神委員長 委員会を再開いたします。

それでは、本日の内容について、企業局長の概要説明を求めます。

○松浦企業局長 本日の報告事項であります。常任委員会資料の2ページを御覧ください。

その他報告事項として、一ツ瀬川県民スポーツレクリエーション施設についてであります。

御案内のとおり、大変厳しい経営状況が続いておりました。昨年来、どうしたら経営が改善するのかなというような検討・協議を指定管理者とも継続をしております。

そういう中で、昨年末、事業者のほうから指定管理の取下げをしたいという申出がありました。このことについて、年末年始、協議をしてきたところではありますが、今月に入りまして、事業者からの申出もやむを得ないという結論にいたりましたので、その旨の御報告ということ

であります。

4月以降についてどうしていくのかということについては、現在、鋭意検討中でございます。経過報告ということになってしまって申し訳ないんですけれども、そういうような状況であります。

具体的な状況につきましては、担当室長からこの後、御説明をさせていただきます。

○荒神委員長 それでは次に、その他報告事項に関する説明を求めます。

なお、委員の質疑は執行部の説明が全て終了した後をお願いいたします。

それでは、執行部の説明をお願いいたします。

○栢木経営企画室長 資料3ページを御覧ください。

一ツ瀬川県民スポーツレクリエーション施設について御説明いたします。

利用者数が低調に推移している状況であり、赤字解消できるまでの経営改善や、今後もゴルフ場運営を継続していくことが困難であることから、指定管理者から辞退の申出がありました。

1、指定管理者についてであります。

指定管理者は、鹿児島市にあります株式会社青山石材、現在の指定期間は、令和6～10年度の5年間です。

2、これまでの経過についてであります。

令和6年度地域振興事業決算において、クラブハウスの改修などもあり、約2,600万円の純損失を計上し、厳しい経営状況であったため、指定管理者と利用者の増加に関する取組など、経営改善に関する取組について、7月から協議を実施してきました。

また、利用者の確保については、利用者の分析を行った上で、新規利用者やリピーター確保

のための新たなキャンペーンを8月から開始しましたが、利用者数は12月末時点では対前年比約4.3%増にとどまっております。

そのような中、経営状況が厳しく、今後の見通しが立たないとのことから、辞退に関する協議文が11月27日に提出されました。これを受けて、改めて指定管理者と今後の運営に関する協議を行ってきました。12月19日は、その後も厳しい経営状況であることを再確認いたしました。1月に入りまして、改めて意思の確認を行い、辞退はやむを得ないという結論に至りました。

3、今後の対応についてであります。

以上のことから、3月中に指定管理者の指定の取消しを行うことにいたします。

また、4月以降の取扱いについては、早急に検討してまいります。

○荒神委員長 執行部の説明が終了いたしました。執行部の説明について質疑はございませんか。

○中野委員 この一ツ瀬川県民スポーツレクリエーション施設を利用している層、年代はどういう人たちが利用しているか。それから利用者はどこの地域から何人の人が利用しているか。分かれば教えてください。

○栢木経営企画室長 利用者の層につきましては、65歳以上の高齢者が半分を占めているような状況でありまして、地域につきましては、令和6年度ですけれども、2万2,292人の利用者のうち、1万1,000人程度が宮崎市からの利用者ということで、半分以上が宮崎市ということになっております。その次が新富町の3,700人程度、その次が西都市、その次が高鍋町というような状況になっているところであります。

○荒神委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

令和8年1月22日(木)

○荒神委員長 それでは、以上をもって、企業局を終了いたします。

執行部の皆様、お疲れさまでございました。

暫時休憩いたします。

午前10時8分休憩

午前10時10分再開

○荒神委員長 委員会を再開いたします。

その他で何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○荒神委員長 以上で、本日の委員会を終了します。

午前10時10分閉会

署 名

文教警察企業常任委員会委員長 荒 神 稔